

保護者・地域・学校で行う教育活動

～下二っ子サポーター(保護者・地域との連携)～

☆学習サポーター

学習サポーター 下吉田第二小学校保護者並びに地域住民

1. 目的と経緯

保護者や地域の方から学校の印象を聞くと敷居が高いという回答をいただくことが多い。本来、学校は地域と共に育っていくものであり、保護者・地域・学校の三者が一体となって教育活動を進めることで、教育的効果が高まっていく。その一つの方法として、保護者や地域の方に授業のサポートをしていただく(学習サポーターを含む)下二っ子サポーターを募り、取り組みを進めている。

2. 内容

・3年生町探検

3年生では、地域学習の一環で学校を離れ地域の公共施設や寺院などを巡る町探検を実施している。富士吉田市は、外国人を含む市外からの観光客が非常に多い地域であり、日本の文化や交通ルールに慣れない方もいる。そんな中でも安心して学習に励むことができるよう、学習サポーターの方に協力していただき、安心・安全な中で町探検を実施することができた。



・5年生ミシンボランティア

5年生の家庭科では、ミシンを使った学習がある。ミシンを初めて使う児童も多いこの単元は、ミシンの扱いに慣れるまで時間がかかり、操作ミスによって糸が絡まってしまったり、ミシンの調子が悪くなってしまったりすることが頻繁に起こる。その頻繁に起こるトラブルに担任一人で対応するのは難しく、人手を要する。ミシンの使い方や糸の処理などをミシンボランティアの方にさせていただくことにより、限られた時間を有効に活用することができた。



3. 成果と課題

○町探検もミシンの学習も、多くの保護者や地域に見守っていただくことにより、安全に学習を進めることができた。また、日頃の学習活動を見ていただくことにより、学校の工夫や苦勞などを保護者の方と共有することができた。

○「子どもたちから、先生なんて呼ばれちゃった」と嬉しそうに授業を振り返る保護者の方もいらっしゃるなど、学校に対する好意的なイメージをもっていただくことができた。「今後も活動に参加したい」と話される方もいらっしゃった。

●開かれた学校という面から見ると、集まっていたいただいた保護者の数は限定的であった。教育活動が見える、そして地域に発信してもらえる活動にするために、広報周知を積極的におこない、保護者や地域からもっと支援していただける学校にしていく必要がある。